

なおみの
さわやか
エッセー



柿の木とイチジクの木

子どものころに住んでいた家の庭には、柿の木とイチジクの木がありました。柿は焼酎につけて渋抜きをしたり、皮をむいて干し柿に。

今は大好きですが、子どものころはリンゴや梨、ミカンが食べたいのに柿ばかり。しかも、物置にある柿を取りに行かされるのは、暗くて怖くてとても嫌だったことを覚えています。

イチジクの木には、よく登って、熟れた実をもいで食べていました。大人になってから、妹に「お姉ちゃんはいつ木に登って食べて、木に登れない私たちには少しだけ上から投げた。まるで「さるかに合戦」みたいだった。」と言われたことがあります。そんな意地悪なことをした記憶は、私には全くないのですが…。

母には「登るなら、ぽきっと折れる柿の木ではなく、しなるイチジクの木にしなさい」とも言われました。おてんばで、特に木に登るのが好きだったので、柿やイチジクで記憶を呼び起こされる、子どものころのお話です。



ご存じですか「018 サポート」
申請期限は12月15日です



都内在住の
0歳から18歳までの子供を対象に
月額5,000円を支給します
(年間最大60,000円)

コールセンター
0570-082-018



貴重な都市農業を守り、営農を支えるために求められている支援を現場に学び、都政にいかすために引き続き調査を進めていく予定です。

けれども、自分たちのような若い世代が楽しんでやらないと、次の世代がついてこない。どう楽しんで農業をやるかが大事だと、展望を語ってくれました。

和泉都議が農家訪問



常な暑さは今後も続く見通しで、農作業

Kさんは、「夏の異
また、Sさんは三郷市、
野田市にも畑があり、

は大変過酷で困難な状況になってきている。子どもに跡を継いでくれとは言えない」と後継者の課題を語ります。
Oさんは、今年は芯くい虫(ハイマダラノメイガの幼虫)が多く、8月の熱い中、ネットの中で作業をすることで被害を防止したとのこと。包装資材も軒並み値上がりして経営は大変ですが、親の世代が守ってきた農地を、守り続けていくという使命感や市場に出した野菜への評価が励みで、おいしいものを届けたいという気持ちがあります。

また、気候変動で野菜の作付のローテーションを変えなければならず、畑を有効に使うために全体の見直しが必要になっているとのことです。
果樹観光農園が評判のSさんも5年前と比べても全体のローテーションが全く変わってきていると語ります。



農家の方と話す和泉都議

水道を引いていない離れた場所で作業をする農家は、車にタンクを積んでいつも以上に頻繁に水をまきに行ったり、天候の急変があったりしたときの対応に苦労しています。

また、気候変動で野菜の作付のローテーションを変えなければならず、畑を有効に使うために全体の見直しが必要になっているとのことです。

和泉なおみの 幹事長日誌



10月9日 月
日本共産党墨田後援会総会で都政報告

10月10日 火
東友会、折りづるの子、予算要望懇談

10月11日 水
マイナ保険証問題署名国会提出、省庁交渉
学校プール調査記者会見

10月12日 木
高島なおき氏告別式

10月13日 金
小笠原町議会来訪

10月17日 火
私学振興予算要望期成大会

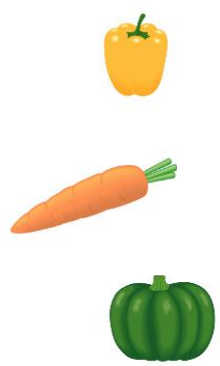
10月21日 土
全国女性消防操法大会

10月24日 火
給食費無償化対政府交渉

10月27日 金
リニア国会レク

10月31日 火
公営企業決算特別委員会全局質疑打合せ

各会計決算特別委員会全局質疑打合せ
神宮外苑議連、国会議連との意見交換



日本共産党都議会議員
和泉なおみの
生活・年金・法律相談
2023年12月13日(水)午後2時より
事前にお電話ください
場所 和泉なおみ事務所